

2 級 学科試験問題

1. 試験時間 60 分

2. 問題数 50 題 A 群（真偽法 25 題）及び B 群（多肢択一法 25 題）

3. 注意事項

- (1) 携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。（電源は予め切り、バック等にしまって下さい）。
- (2) 机上に受検票及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。
- (3) 電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (4) 試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。
- (5) 試験官の指示に従って、試験問題のページ数を確認してください。もし、異常があった場合には、黙って手を挙げて下さい。
- (6) 解答用紙はマークシートです。必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。
- (7) 解答用紙には、等級、受検番号、氏名を必ず記入し、受検番号の欄は、受検区分と受検番号を必ずマークして下さい。
- (8) 試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。
- (9) 問題は、A 群（真偽法 25 題）及び B 群（多肢択一法 25 題）の 50 題です。
 - ① 真偽法は、問題の内容が正しいか誤っているかを判断し、解答用紙に正か誤のどちらか一つを記入して下さい。
 - ② 多肢択一法は、問題に対応する選択肢の中で、正解と思う選択肢を一つ選び、解答用紙に記入して下さい。
 - ③ 解答用紙の注意事項を必ず確認し、A 群、B 群の解答欄を間違わないように記入して下さい。
- (10) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、試験問題の内容についてはお答えできません。
- (11) 試験開始後 30 分間は退出できません。30 分経過後に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。退室後は試験が終了するまで再入室はできません。
- (12) 試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。

(13) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従ってください。

(14) 試験終了後、解答用紙は提出してください。問題用紙は持ち帰ってください。

■A群（真偽法）

1. ビル清掃において除去対象となるのは、ほこりと汚れだけである。
2. ビル内の床面を、汚れの特徴に応じて清掃方法などを考える手法をゾーニングという。
3. ポリッシャー用赤パッドは、ナイロンなどの不織布に鉱物性の研磨材を付着させたものである。
4. 合成洗剤に加えられたビルダーや溶剤、添加剤は洗浄効果を高める働きがある。
5. 床ブラシを使って床面を押して掃く方法を、押さえ掃きという。
6. 14インチ型普通ポリッシャーの回転数は、200～240rpmである。
7. 労働災害の人的原因には、知識・技能の欠如が含まれる。
8. 作業計画の中には、対象作業・時間・従事者・作業方法を記載する。
9. 繊維床の洗浄方式であるエクストラクション方式は、多量の水分を使用するので、縮みの問題が起きやすい。
10. ビルクリーニング作業計画を作成する時に共用区域・専用区域・管理用区域・外装・外周区域の4つの区域に分けて取り扱う。
11. 建築物衛生法（略称）で規制対象となる建築物を特殊建築物という。
12. ビル管理上のごみ処理は、集積所に運搬することで終了する。
13. カーペットの主な染色方法には先染めと後染めがあり、染色の堅牢度は後染めの方が良い。
14. 建築物衛生法（略称）における事業登録は本社一括で行われ、登録の有効期間は6年である。
15. 生活系廃棄物と事業系廃棄物は、地方自治体が処理の責任を負う。
16. ビルクリーニングの五原則は、建材・汚れ・洗剤・作業方法・保護膜の知識である。
17. アルカリ物質は、洗浄効果に優れ多くの洗剤に加えられており、木材や天然繊維にも影響はない。

18. ビルのプラスチック系建材が次第にうす汚れていくのは、親水性の汚れが蓄積されるからである。
19. リノリウム系床材は、はく離剤およびアルカリ性洗剤の影響を受けない
20. トラップの基本形を大別すると、管トラップ、ドラムトラップ、わんトラップがある。
21. トイレは使用頻度が激しく、汚染度の高い場所であるから環境衛生の面からも行き届いた清掃を行う。
22. 日常作業の中で、余裕時間は主体作業時間の4～8%である。
23. トイレの空気吸込み口は、常に目詰まりなどしないように定期的な手入れが必要である。
24. ほこりや手あかは、ときとして感染症の経路を形成する役割を果たすことがある。
25. 親水性の汚れは、水に溶解する。

■ B群（多肢選択法）

1. 建築物環境衛生管理基準の基準値として、最も適切な組み合わせはどれか。
 - イ 浮遊粉じんの量 — 空気 1 m³につき 0.15mg 以下
 - ロ 二酸化炭素の含有率 — 100 万分の 10,000 以下
 - ハ 相対湿度 — 30%以下
 - ニ 気流 — 0.7m/s 以下
2. エスカレータ清掃に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
 - イ プラスチックパネルは、帯電しないためほこりは付着する
 - ロ 手すり人は人が触れるところであり、手垢汚れが付着しやすい箇所である
 - ハ ステップに付着した固形物は、パテナイフで取り除く
 - ニ デッキボードの日常清掃は、静電気を利用したほこり取り器具を使用する
3. 用具の特徴に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
 - イ プレスモップはアメリカで開発されたモップで、房糸が長いことが特徴である
 - ロ ダストクロス型モップは湿式モップとも呼ばれている
 - ハ スプリングモップは柄の取り付け部にスプリングがついていることが特徴である
 - ニ ワンタッチモップは柄と房糸の脱着が容易にできる構造になっている
4. ステンレススチール表面仕上げ方として、最も適切な組み合わせはどれか。
 - イ バイブレーション仕上げ — 無方向性のヘアライン研磨仕上げ
 - ロ エッチング仕上げ — にぶい灰色のつや消し仕上げ
 - ハ 鏡面仕上げ — 表面が光輝ある仕上げ
 - ニ ヘアライン仕上げ — 長く連続的な研磨目を付けた仕上げ

※B群（多肢選択法）設問4の問題文について、次のとおり誤りがありましたので、問題文を以下のとおり訂正し、設問4は全員を正解といたします。

【誤】 ステンレススチール表面仕上げ方として、最も適切な組み合わせはどれか。

【正】 ステンレススチール表面仕上げ方として、最も不適切な組み合わせはどれか。

5. 繊維系床材の定期清掃の技法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
 - イ スチーム方式
 - ロ エクストラクション方式
 - ハ ドライフォーム方式
 - ニ スプレークリーニング方式
6. 洗剤の使用上の注意に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
 - イ 有機溶剤や酸などは建材に強い影響を与える
 - ロ pH 試験紙が青色に変化した溶液は弱酸性である
 - ハ 洗剤は温度が高い方が活発に作用し、その温度は約 40℃程度である。
 - ニ 洗剤は浸透性の強い物質なので保護手袋を使う

7. 転倒災害防止に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
- イ 作業範囲の通路を確保する
 - ロ 不適切な作業行動（走る・機材をまたぐ等）をとらない
 - ハ 安全性の高い作業工程に変更する
 - ニ 床面と足の裏との摩擦係数を小さくする
8. ビルごみの一般的な種類で、最も適切な組み合わせはどれか。
- イ 可燃ごみ — 新聞紙、段ボール、吸殻
 - ロ 資源化物 — 発泡スチロール、生ごみ、アルミ缶
 - ハ 粗大ごみ — 什器、木製、寝具
 - ニ 不燃ごみ — ペットボトル、ガラスくず、金属類
9. 作業計画を作成する上で、最も不適切なものはどれか。
- イ ビルの使用目的
 - ロ 作業内容およびその区分
 - ハ 使用する資機材の種類
 - ニ テナントの種類
10. 標準作業時間の構成の中で、最も不適切なものはどれか
- イ ごみなどの運搬
 - ロ 作業場への往復
 - ハ 打合せ
 - ニ 会議
11. 建築物衛生法（略称）の事業登録に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
- イ 物的要件、人的要件、質的要件が充足していること
 - ロ 営業所を管轄する都道府県知事の登録を受けることができる制度である
 - ハ 登録の有効期間は5年である
 - ニ 登録業種は8業種である
12. 保護具使用の心得に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
- イ 保護具は正しく着用し慣れることが大切である
 - ロ 保護具は使いやすいように改造をする
 - ハ 他の従事者の保護具は使用しない
 - ニ 保護具の不具合がある場合は、使用しない
13. 天井仕上げ材に求められる性質として、最も不適切なものはどれか。
- イ 吸音性
 - ロ 断熱性
 - ハ 耐候性
 - ニ 防火性

14. 廃棄物処理法（略称）に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
- イ 生活系廃棄物の処分は、各家庭の責任となっている
 - ロ 建築物から排出される産業廃棄物は、自らの責任において処分する
 - ハ 産業廃棄物の処理を委託する場合は、許認可を受けた処理業者に委託する
 - ニ 処理業者に対して産業廃棄物管理票マニフェストを交付する
15. ビルごみの単位容積質量値（kg/m³）の中で、最も適切な組み合わせはどれか。
- イ 紙くず — 150～400
 - ロ 厨芥 — 700～800
 - ハ 雑誌・新聞等 — 500～700
 - ニ 雑芥 — 50～100
16. しみに関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
- イ しみの種類を大別すると油溶性と特殊なものに分けられる
 - ロ しみを効果的に除去するには、しみの性質に合わせた溶剤や洗剤を使用する
 - ハ しみの除去は、早ければ早いほど効果的である
 - ニ 溶剤や洗剤を使用する場合は、繊維の色落ち等に注意する
17. 洗剤の種類に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。
- イ アルカリ性洗剤は pH10 超で、非常に洗浄力が優れている
 - ロ 表面洗剤は樹脂被膜に対する影響が大きい
 - ハ 酸性洗剤は洗面台周辺の水垢の除去などには適さない
 - ニ カーペット用シャンプー（発泡）洗剤は、基布を濡らさないよう考案されている
18. 粉状物質の除去方法で、最も不適切なものはどれか。
- イ ほうきを使い、掃き集めて取り除く
 - ロ 乾式モップを使い、細かいほこりを拭き取る
 - ハ パテナイフやスチールウールを使い、こすり取る
 - ニ モップに微量の油、又は界面活性剤を含ませて吸着させる
19. 防災体制の整備について、最も不適切なものはどれか。
- イ 建築物内外の秩序維持
 - ロ 盗難その他の犯罪防止
 - ハ 火災予防ならびに消火活動
 - ニ 防汚対策
20. し尿浄化槽へ流入した汚物を浄化する順序について、最も適切なものはどれか。
- イ 腐敗槽 → 消毒槽 → 酸化槽
 - ロ 酸化槽 → 腐敗槽 → 消毒槽
 - ハ 消毒槽 → 酸化槽 → 腐敗槽
 - ニ 腐敗槽 → 酸化槽 → 消毒槽

21. 定期清掃として、最も不適切なものはどれか。
- イ 床面の洗浄
 - ロ 金属みがき
 - ハ 壁面・柱の上部などの高所部分の清掃
 - ニ ビル外回りの除じん
22. 作業計画の効用として、最も不適切なものはどれか。
- イ 作業成果の向上
 - ロ 作業能率の向上
 - ハ 作業管理のしやすさ
 - ニ 従業員採用のやりやすさ
23. 建築物内の害虫に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
- イ 都市における建築物や地下街では圧倒的にドブネズミが多い
 - ロ ゴキブリはチャバネゴキブリが多くみられる
 - ハ チカイエカは汚水槽・排水槽・し尿浄化槽などに大量に発生する
 - ニ チョウバエは汚水槽・し尿浄化槽などに多く発生する
24. 照明の説明として、最も不適切なものはどれか。
- イ 窓などにより室内に自然光を取り入れることを自然照明という
 - ロ 蛍光灯や白熱電球による照明を人工照明という
 - ハ ブラインドや窓ガラスの汚れは室内の明るさに影響を与える
 - ニ 事務所衛生基準規則では、粗な作業は 70 ルクス以上と定めている
25. 建築物に異物が付着する原因の中で、自然的原因として最も不適切なものはどれか。
- イ 空気中の浮遊粉じん
 - ロ ネズミ・ゴキブリ・クモなどの動物類の死がいやフン
 - ハ カビ・衛生害虫の発生
 - ニ 手あか・分泌物・排泄物・抜毛

2級 学科試験問題

< 正 解 >

A群 真偽法	
設問	解答
1	誤
2	正
3	正
4	正
5	誤
6	誤
7	正
8	正
9	正
10	正
11	誤
12	誤
13	誤
14	誤
15	誤
16	正
17	誤
18	誤
19	誤
20	正
21	正
22	誤
23	正
24	正
25	正

B群 多肢択一法	
設問	解答
1	イ
2	イ
3	ロ
4	
5	ニ
6	ロ
7	ニ
8	ロ
9	ニ
10	ニ
11	ハ
12	ロ
13	ハ
14	イ
15	ロ
16	イ
17	ニ
18	ハ
19	ニ
20	ニ
21	ニ
22	ニ
23	イ
24	イ
25	ニ

※B群の多肢択一法の設問4は、問題文に誤りがあったため、全員正解といたします。